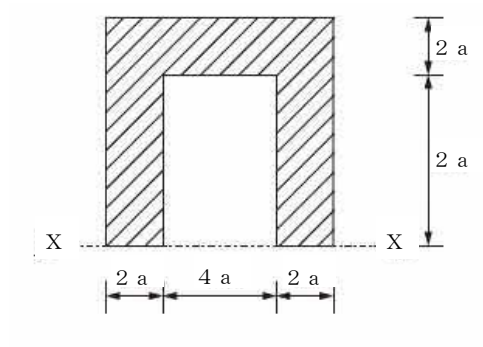


建築 A

〔例題 1〕 図のような断面（斜線部分）において、 $X-X$ 軸から図心までの距離はいくらか。

1. $4a$
2. $4.2a$
3. $4.4a$
4. $4.6a$
5. $4.8a$



【正答 4】

建築 A

〔例題 2〕 消火・警報設備に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 屋内消火栓設備は、消防ポンプ自動車のホースを連結して、消防隊が本格的な消火活動を行うためのものである。
2. 水噴霧消火設備は、噴霧ヘッドから水を噴霧状に放射して火災を消火するもので、主として冷却作用と酸素の遮断により燃焼を阻止する仕組みである。
3. 全域放出方式の二酸化炭素消火設備は、事務所や病院などの居室における火災の消火に適している。
4. 自動火災報知設備の煙感知器は、煙にも熱にも反応して作動する。
5. ガス漏れ警報設備は、天然ガスの場合は床面近くに、プロパンガスの場合は天井近くに検知器を付ける。

【正答 2】

建築A

〔例題3〕 コンクリートに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. エフロレッセンス（白華）は、コンクリート中の炭酸カルシウムなどがコンクリートの表面に析出した、白色の物質である。
2. クリーブは、コンクリートが固まる前に、コンクリートの表面が急激に乾燥することによって収縮し、ひび割れが生じる現象である。
3. コールドジョイントは、フレッシュコンクリート中の練混ぜ水の一部が分離して、上面に向かって上昇する現象である。
4. コンクリートの中性化速度は、圧縮強度が低くなるほど小さくなる。
5. コンクリートの圧縮強度は、水セメント比が小さいものほど低い。

【正答1】

建築 A

〔例題 4〕 日本の建築物に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 旧帝国ホテルは、フランク・ロイド・ライトの設計による、鉄骨構造を主体とした建築物である。
2. 神奈川県立近代美術館は、前川國男が設計し、1951年（昭和26年）に完成した日本初の公立近代美術館である。
3. 日本銀行本店は、ジョサイア・コンドルの設計により、1896年（明治29年）に竣工した、バロック様式にルネサンス様式を取り入れたネオ・バロック様式でまとめられた建築物である。
4. 旧赤坂離宮（迎賓館）は、宮廷建築家として活躍した片（かた）山（やま）東（とう）熊（くま）の設計により、1909年（明治42年）に完成した、鉄骨レンガ造り（一部石造）のネオ・バロック様式の本格的な宮廷建築である。
5. 国立西洋美術館は、ミース・ファン・デル・ローエが設計し、1959年（昭和34年）に竣工した、中央吹抜けのホールを中心に、各展示室の平面が卍（まんじ）型に構成された建築物である。

【正答 4】